

令和元年度

アルコール・薬物関連問題研修募集要項

(主催) 日本アルコール・アディクション医学会

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター

本研修会のうち薬物関連問題研修は、日本アルコール・アディクション医学会が主催し、「依存症に対する集団療法に係る研修」に該当します。

目 次

1. 趣旨
2. 令和元年度研修計画
3. 受講にあたって
 - 1) 受講申請手続きについて
 - 2) 受講許可等の通知について
 - 3) 受講時の注意事項について
 - 4) 修了証書の授与について
 - 5) 研修費用の負担について
 - 6) 宿泊施設のご案内について
 - 7) 懇親会について
 - 8) その他
 - (1) 交通機関のご案内
 - (2) 肥前精神医療センターの医師養成研修センター案内図

1. 趣旨

肥前精神医療センターでは、平成 15 年度よりアルコール・薬物関連問題の予防、教育、医療、司法、行政、矯正に関わる様々な職種の関係者を対象に、アルコール・薬物関連問題の治療、アフターケアと生活習慣病予防にも関連するアルコール・薬物関連問題の予防について、広く普及啓発をはかることを目的としてアルコール・薬物関連問題研修会を開催してきましたが、引き続き本年度も開催の運びとなりました。

第 1 日目から第 3 日目までの薬物関連問題研修会は、日本アルコール・アディクション医学会（藤宮龍也理事長）主催で当院が委託を受け開催し、平成 28 年度診療報酬改定で新たに算定が認められた「依存症集団療法」の施設基準にある「依存症に対する集団療法に係る適切な研修を修了した者に限る」の「研修」に該当します。一方、第 4 日目のアルコール関連問題予防研修会は肥前精神医療センターの主催で、アルコール関連問題の予防をテーマに、「ブリーフ・インターベンション&HAPPY プログラム研修」を行い、受講者には HAPPY プログラムの使用権が付与されます。

2. 令和元年度研修計画

1) 目的

薬物関連問題研修では、依存症に対する集団療法に係る研修を中心に薬物依存症者の治療と支援に必要な基礎知識と基本的な技法の修得を目指し、アルコール関連問題研修では、アルコール関連問題の早期介入の技法としてその有用性が確認されているブリーフ・インターベンションと肥前精神医療センターで開発されたHAPPYプログラムの修得を主眼に開催します。

1. 依存症に対する集団療法

第1日目と2日目の薬物関連問題研修では、依存症に対する集団療法に係る研修を中心に当事者のアフターケアや家族支援を含め薬物乱用、依存および関連領域の基礎知識と介入、援助の基本的な技法を修得する目的で研修を行います。また、第3日目には肥前精神医療センターでアルコール・薬物依存症患者の治療に採り入れている新たな治療プログラム「変化のステージ」を紹介し、研修修了後は各施設に持ち帰って本治療プログラムやテキストの使用が認可されます。

2. アルコール関連問題予防

第4日目は、地域、医療機関や職域におけるアルコール関連問題の予防、早期介入に関する専門的な知識および介入方法を修得する目的で研修を行います。HAPPYプログラム（肥前式アルコール関連問題早期介入プログラム）は、主として多量飲酒者の飲酒量低減と、アルコール依存症の疑いのある方を専門医療機関受診につなげることを目指したプログラムで、生活習慣病対策や飲酒運転対策に用いることができます。アルコール関連問題予防研修の受講者には、HAPPYプログラムの使用権が付与されます。

2) 研修日時

令和元年11月26日（火）～令和元年11月29日（金）まで

（依存症に対する集団療法研修 11月26日～11月28日 3日間）

（アルコール関連問題予防研修 11月29日 1日間）

3) 研修内容

日程表の通り（講師の都合により日程の変更がある場合があります）

4) 定員

約100名（ご応募が定員を超えた場合、主催者側で受講者の選考を行います。予めご了承下さい。）

5) 受講資格

主として、医療、保健、行政機関に勤務する者で、依存症に対する集団療法と薬物乱用、依存に関する基礎知識、アルコール関連問題の予防技法の修得を希望する方を対象にします。

6) その他

本研修会のうち薬物関連問題研修会は、日本アルコール・アディクション医学会が主催し、「依存症に対する集団療法に係る研修」に該当します。ただし、「重度アルコール依存症入院医療管理加算」に係る研修ではありません。

3. 受講にあたって

1) 受講申請手続きについて

(1) 受講申し込みは Web 受付のみとなります。

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センターのホームページ
<https://hizen.hosp.go.jp> をご参照ください。

※本年度から薬物関連問題研修会とアルコール関連問題予防研修会の主催が異なるため、薬物関連問題研修会（依存症に対する集団療法に係る研修、第1日～3日目）とアルコール関連問題予防研修会（HAPPY プログラム使用権取得研修、第4日目）は上記ホームページから申し込んで頂くこととなります。

（4日間の研修を受講される方は応募フォームで両方のコースを選択して下さい。）

(2) 受講申し込みの方法について

専用申し込みフォームへ必要事項をご記入の上お申し込み下さい。

(3) 応募受付期間

令和元年 8 月 13 日（火）11 時～令和元年 10 月 1 日（火）15 時

2) 受講許可書等の通知等について

受講の可否については、10 月 1 日の締め切り以降に、応募いただいたメールアドレスへ仮通知のご連絡をいたしますのでご確認ください。

また、10 月下旬に、追って所属施設応募者様宛に文書（郵送）でも受講決定通知を発送いたします。必ずご確認ください。なお、本年度も定員を超える受講希望が見込まれます。定員を超えた場合は、主催者側で受講者の選考を行います。予めご了承ください。

※電話による受講の可否についてはお答え致しかねます。

3) 受講時の注意事項

(1) 受付

研修初日（11 月 26 日）は、午前 8 時 15 分より受付を開始し、午前 9 時より研修を開始いたします。開始時刻に遅れないように研修会場である肥前精神医療センター内の医師養成研修センターまでお越し下さい。

(2) 会場

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160 番地
独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター
医師養成研修センター（別図参照） TEL 0952-52-3231

(3) 持参すべき物

- ①筆記用具
- ②昼食
- ③その他 必要であればひざ掛け(空調への対応)。

4) 修了証書の授与について

- (1) 所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

薬物関連問題研修（依存症に対する集団療法に係る研修）修了者には、主催する日本アルコール・アディクション医学会より研修修了証書が授与されます。

なお、診療等のやむを得ない理由で第2日目終了までの2日間（11/26.11/27）しか受講できない場合でも、「依存症に対する集団療法に係る研修」の要件を満たすため修了証書を発行します。応募の際、予めその旨を応募フォームの「本研修会受講の動機と目的」の欄に記載して下さい。

また、アルコール関連問題予防研修修了者には、主催する肥前精神医療センターより修了証書とともに HAPPY プログラム（肥前式アルコール関連問題早期介入プログラム）の使用が認可されます。なお、HAPPY プログラムの使用権は、受講された個人に付与されるものです。

5) 研修費用について

- (1) 薬物関連問題研修（依存症に対する集団療法に係る研修）コース

日本アルコール・アディクション医学会 会員の場合：

受講料 20,000 円（内訳：資料代 20,000 円）

日本アルコール・アディクション医学会 非会員の場合：

受講料 24,000 円（内訳：資料代 24,000 円）

- (2) アルコール関連問題予防研修（HAPPY プログラム使用権取得研修）コース

日本アルコール・アディクション医学会 会員、非会員に関わらず：

受講料 16,000 円（内訳：資料代 16,000 円）

※アルコール関連問題予防研修受講生には、講義資料の他、DVD で FileMaker Pro と Power Point (Windows) のソフト上で作成されたアルコール関連問題早期教育、介入用のプログラム（HAPPY プログラムと集団節酒指導プログラム）とテキストを配付いたします。

※キャンセルによる払い戻し受付期限 11/18（月） 15：00 迄にメールで連絡をお願いします。既に振込済の場合、研修費から振込手数料を差し引いた金額をご指定

の口座に振り込ませていただきます。11/19（火）15：00 以降の受講キャンセルについては、払い戻しできかねますので、ご了承下さい。
電話による連絡は受け付けておりません。

※ 受講決定者には受講決定通知発送時、研修費の振込についての書類を同封いたします。各自で指定された期日までにご入金をお願い致します。

尚、振込手数料は各自でご負担頂きますようお願いいたします。

なお、昼食は手軽に利用できる場所が近くにありません。受講前に各自の昼食を購入し、持参ください。

6) 宿泊施設のご案内について

宿泊については、各自で手配されますようお願いいたします。

本研修会では、下記の近隣ホテルをご案内しておりますが、当院の指定ではありません。

※各ホテルのサービス等については、お申込時にご予約先のホテルにお尋ね下さい。研修会事務局では対応しておりません。

- ・「吉野ヶ里温泉ホテル」

佐賀県三養基郡上峰町坊所 1523-1（当院から車で約 10 分）

TEL 0952-51-1020 FAX 0952-53-6700

- ・「サンホテル鳥栖」

佐賀県鳥栖市京町 781-1（鳥栖駅より徒歩 1 分）

TEL 0942-87-3939 FAX 0942-87-3535

- ・「HOTEL AZ 佐賀吉野ヶ里店」（JR「吉野ヶ里公園駅」より徒歩で約 7 分）

（東脊振 IC より車で 10 分）

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田 834-1

TEL 0952-55-9701 FAX 0952-55-9702

7) 本募集要項についての問い合わせ先

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160 番

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター

アルコール・薬物関連問題研修会事務局

担当:教育研修部 西口(内線 7805) 坂井(内線 7768)

TEL: 0952-52-3231 FAX: 0952-52-3618

メール: 607-kyoukenjimu@mail.hosp.go.jp

※募集要項はホームページにも掲載しています。<https://hizen.hosp.go.jp>

8) 懇親会について

研修初日の午後 6 時半頃より 2 時間程度の懇親会（ノンアルコール）を院内で行います（参加費 3,000 円程度を予定）。皆様のご参加をお待ちしております。受講申込時に同時にお申し込み下さい。

参加費は当日徴収いたします。なお、キャンセル時の払い戻しはできませんので、予めご了承ください。

9) その他

(1) 交通機関のご案内

【航空機利用の場合】

「福岡空港」着

①JR 九州利用の場合

「福岡空港」→「地下鉄」→「JR 博多駅」→「JR 鳥栖駅」を經由→長崎線「吉野ヶ里公園駅」又は「神埼駅」降車 → タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 7 分、約 1,600 円

②高速バス利用の場合

「福岡空港」→佐賀方面行き→「高速神埼」降車
タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 5 分、約 1,400 円

「佐賀空港」着

「佐賀空港」→空港バス→「JR 佐賀駅」（佐賀駅で JR に乗り換え）→「神埼駅」又は「吉野ヶ里公園」降車→タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 7 分
約 1,600 円

【九州新幹線利用の場合】

「博多駅」→「新鳥栖駅」→「JR 新鳥栖駅」を經由→長崎線「吉野ヶ里公園駅」又は「神埼駅」降車 → タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 7 分、約 1,600 円

【JR 九州利用の場合】

「博多駅」又は「佐賀駅」方面から、長崎線「神埼駅」又は「吉野ヶ里公園駅」降車→ タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 7 分、約 1,600 円

【高速バス利用の場合】

長崎自動車道「高速神埼」降車
タクシーで「肥前精神医療センター」まで約 5 分、約 1,400 円

【高速自動車道利用の場合】

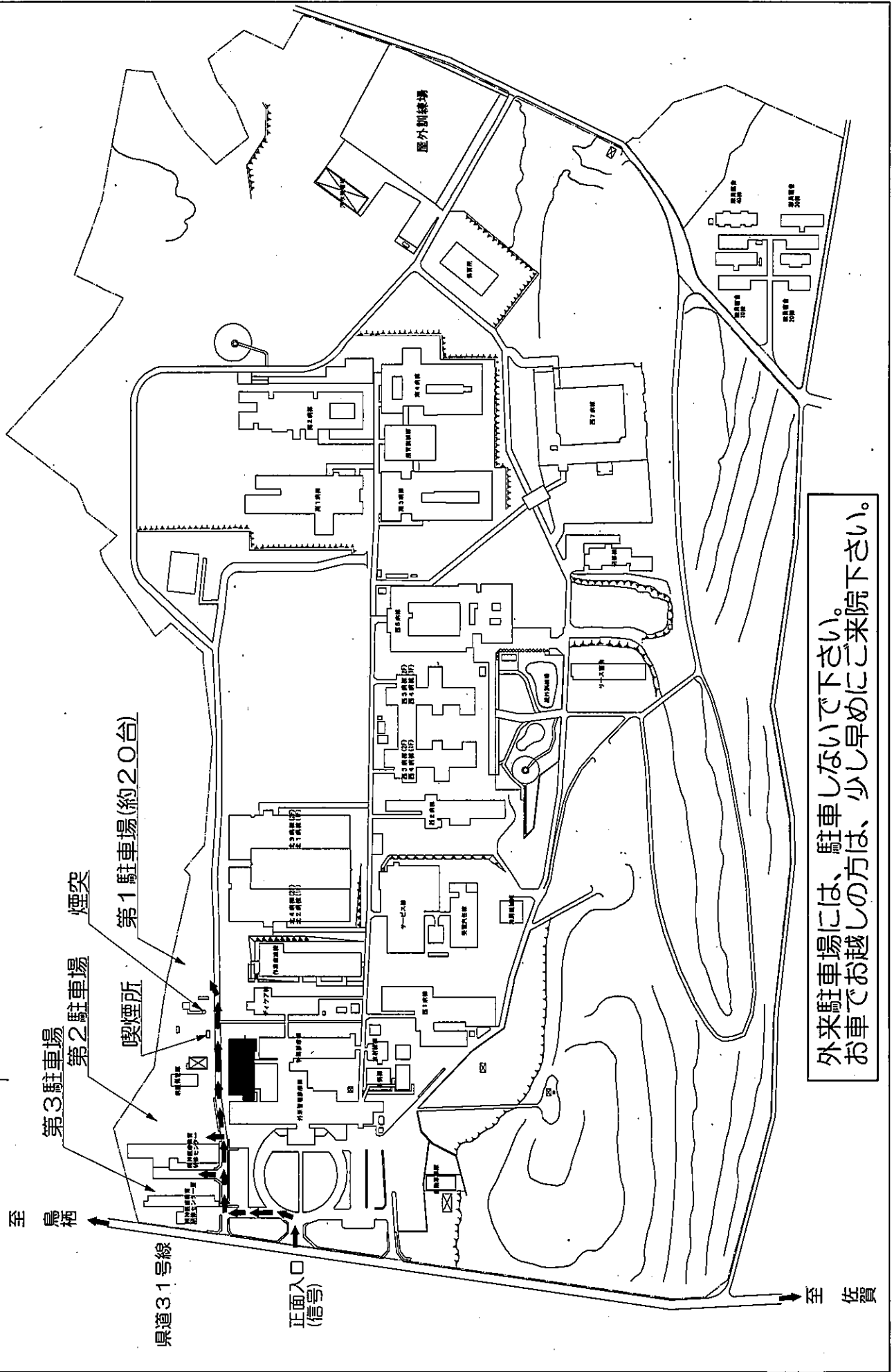
長崎自動車道「東背振インター」下車 5分

最初の信号を右折し「吉野ヶ里町役場東背振庁舎前」を通過し、約 800mの信号「中副」を右折、約 1.2km 走行、左側の 3 階建（信号機の 2ヶ所目）の茶色い建物が「肥前精神医療センター」です。

※タクシーを利用される場合は、「肥前精神医療センターの医師養成研修センター前」までと申しつけて下さい。

※当院近隣の駅・宿泊施設から公共交通機関が無く、移動には大変ご不便をおかけ致しますが、何卒ご了承のうえ受講頂きます様お願いいたします。

肥前精神医療センター研修用駐車場案内図



外来駐車場には、駐車しないで下さい。
お車でお越しの方は、少し早めにご来院下さい。

依存症に対する集団療法に係る研修 プログラム

第1日目 2019年11月26日(火)

司会：武藤 岳夫	
9:00~9:10	開会式・院長挨拶 杠 岳文(肥前精神医療センター院長)
9:10~10:25	「依存性薬物の薬理学的特徴と薬物乱用・依存・中毒の概念について」 武藤 岳夫(肥前精神医療センター)
10:40~11:20	「薬物依存症患者への対応の基本」 吉森 智香子(肥前精神医療センター)
11:30~12:30	「薬物依存臨床における司法的問題への対応」 武藤 岳夫
12:30~13:20	【休憩】
13:20~15:05	「認知行動療法を用いた薬物依存症に対する集団療法の理念と意義」 松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター)
15:20~16:50	「ビデオ学習」
17:00~17:30	「社会資源(1)精神保健福祉センターにおける支援」 ※福岡県精神保健福祉センター 未定
17:30~18:00	「社会資源(2)民間リハビリ施設と自助グループ」 ※佐賀ダルク松尾施設長を予定
18:30~20:30	懇親会 司会：肥前精神医療センタースタッフ

第2日目 2019年11月27日(水)

司会：中島 薫	
8:30~10:00	「認知行動療法を用いた薬物依存症に対する集団療法の実際」 中島 薫(カウンセリングスペースひなた猫)
10:10~11:40	「デモセッション」 ※肥前精神医療センタースタッフ、佐賀ダルクメンバーにて実施予定
11:40~12:30	【休憩】
12:30~15:30	「グループワーク(1)(2)」 肥前精神医療センタースタッフ
15:40~17:00	「まとめとディスカッション」 肥前精神医療センタースタッフ

第3日目 2019年11月28日(木)

司会：大坪 麻貴	
9:00~10:00	「変化のステージを用いた依存症者に対する治療プログラム」 福田 貴博(肥前精神医療センター)
10:10~11:00	「薬物依存症者に対する入院治療プログラムの実際」 肥前精神医療センタースタッフ
11:10~12:30	当事者から見た薬物依存症の支援 近藤 恒夫(日本ダルク)
12:30~13:20	【休憩】
13:20~14:30	「薬物依存症者の家族支援」 比江島 誠人(医療法人横田会向陽台病院)
14:40~15:20	「CRAFTプログラムを用いた家族教室の実際」 大坪 麻貴(肥前精神医療センター)
15:30~16:50	女性のアディクションの特徴とその支援 上岡 陽江(ダルク女性ハウス)
16:50~17:00	修了証書授与

2019年度アルコール関連問題予防研修 プログラム

2019年11月29日（金）

司会：福田 貴博

9：00～9：05	あいさつ 杠 岳文
9：05～10：05	「ブリーフ・インターベンションの基礎」 武藤 岳夫
10：15～11：05	「ブリーフ・インターベンションのパッケージ：HAPPYプログラム」 杠 岳文
11：05～11：30	「ブリーフ・インターベンションの応用：集団節酒指導プログラム」 杠 岳文
11：30～11：55	「ワークブックと飲酒日記の使い方」 杠 岳文
11：55～12：40	【 昼食 】
12：40～13：20	「Web上のできるブリーフ・インターベンション：SNAPPYシリーズ」 角南 隆史（佐賀県医療センター好生館）
13：20～14：20	「地域におけるアルコール問題の現状と二次予防」 福田 貴博
14：20～14：30	【 休憩・ロールプレイ準備 】
14：30～15：10	「ブリーフ・インターベンション実践（1）：ワークブック基礎編を用いた介入」（ロールプレイの進め方、ロールプレイ） 吉森 智香子 他（肥前精神医療センター）
15：10～15：50	「ブリーフ・インターベンション実践（2）：ワークブック応用編を用いた介入」（ロールプレイの進め方、ロールプレイ） 吉森 智香子 他（肥前精神医療センター）
16：00～16：40	「集団節酒指導プログラムを用いた介入の実際」 武藤 岳夫
16：40～17：00	総合討論・修了証書授与